【基本情報】

教　　科	国　　語	学　年	2　年	教科書	古典Ｂ　改訂版　筑摩書房
科　　目	古　典　Ｂ	単位数 (年間予定コマ数)	3 （96）	副教材	新版五訂　完全マスター古典文法　（第一学習社） 基礎から解釈へ　漢文必携　四訂版　（桐原書店） 新版四訂　新訂総合国語便覧（第一学習社）

科目概要	国語総合の古典分野で学習した内容をさらに深く理解し、定着させることを目的としています。そのために、古文・漢文の両分野において、文法事項の体系的な学習を踏まえた読解と反復演習を行います。
到達目標	古文分野　①用言・助動詞の用法　②敬語法　③助詞の用法　④古文単語　⑤古典常識　⑥文学史 漢文分野　①句法　②用字　③漢文常識　④文学史⑤ その上で、古文・漢文とも語彙力を増やすことで文章読解が出来るようになることが目標です。 （共通テストレベルで70％以上得点できることを目標とします。）
授業の進め方	教科書の本文、現代語訳、重要文法事項を取り入れたプリントを使用します。 要点を絞った説明が中心となりますが、指名して現代語訳や発問への解答を求めます。 学習事項の習得状況を把握するため、古文・漢文の両分野において随時確認テストを実施します。
留意事項	教科書、ノート、副教材（プリント含む）を忘れずに準備してください。 予習をして臨んでください。授業内容の理解が格段に高まります。 疑問（たとえば現代語訳の別解など）があれば、授業時間内や授業後に質問・発言することが理解の深化につながります。
家庭学習	プリントを参考にしながら、自分自身の「ノート作り」を心がけてください。 【予習】古文：①「単語」および「文法事項」を調べ、②脚注も参考にしながら自分の力で「口語訳」を作り上げる。 　　漢文：①「書き下し文」を作り、②脚注を参考にしながら自分の力で「現代語訳」を作り上げる。 【復習】古文・漢文とも、その日の学習内容の確認をする。
備　　考	試験と名のつくもの［共通テスト、定期考査など］はほとんど「制限時間」が設けられています。 限られた時間内に問題を解くには、単に「知識がある」だけでなく「その知識をどれだけ早く取り出せるか」が求められます。 そこで必要なのが反復練習です。知識は、一度解いた問題を繰り返し振りかえることで定着します。 また、古文の語彙力は、授業で扱う教材だけで身につけるのは不可能ですので、古文単語テストを継続して実施します。

【評価の方法】

観　　点	ポ　イ　ン　ト	割　合	評　価　項　目
Ａ．関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。	10％	授業や課題に進んで取り組めたか。課題を期限内に提出できたか。
Ｂ．話す・聞く能力			
Ｃ．書く能力			
Ｄ．読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにする。	20％	人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に捉えることができたか。
Ｅ．知識・理解	古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。	70％	用いられている語句の意味、用法、文の構造などを理解できたか。

【年間計画】

単　　元	配当時数	学　　習　　内　　容	観点別評価					到　　達　　目　　標
			A	B	C	D	E	
古文　説話１ 物語１ 随筆１ 漢文　故事 前期中間考査	１６	宇治拾遺物語　袴垂、保昌にあふこと 伊勢物語　初冠 狩りの使ひ 渚の院 枕草子　野分のまたの日こそ 五月ばかりなどに 世の中になほいと心憂きものは すさまじきもの 二月つごもりごろに 故事　病入膏肓 先従隗始	○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
古文　物語２ 随筆２ 漢文　漢詩〈近体詩〉 前期期末考査	１６	源氏物語　光源氏の誕生 若紫 徒然草　大事を思ひ立たむ人は 世に語り伝ふること 近体詩　鹿柴 望廬山瀑布 登高	○ ○ ○			○ ○ ○	○ ○ ○	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
古文　物語３ 日記 漢文　史記１ 後期中間考査	１６	平家物語　忠度の都落ち 更級日記　継母との別れ 項羽　鴻門之会 四面楚歌	○ ○ ○			○ ○ ○	○ ○ ○	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。
古文　物語３ 漢文　文章２ 古文　和歌・歌謡・俳諧 後期期末考査	１６	大鏡　花山天皇の出家 公任、三船の誉れ 南の院の競射 漁夫辞 万葉の歌 王朝の歌 中世の歌 近世の句	○ ○ ○			○ ○ ○	○ ○ ○	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。 ・既習事項の復習